

# 第 76 回手術手技研究会主催報告

## 佐賀大学 一般・消化器外科 能城浩和

2022年5月20日(金)-21日(土)に佐賀県佐賀市・ホテル グランデはがくれにて「第76回手術手技研究会」を無事に開催することができました。参加いただきました先生方にこの場をおかりして厚く御礼申し上げます。



今回のメインテーマは『手術は“組織との会話”である』とさせていただき、主題は「組織との会話1～“膜”の由来を見極める～」と「組織との会話2～微細解剖を見極める～」といたしました。私自身、手術において最も大切にしている信念であり、世話人特別企画としてもご準備させていただきました。その道を究めた全国の著名な先生方にお力添えをいただき、多数のご講演を賜りました。

コロナ禍にありながら、主題24題、エキスパートビデオ9題、世話人特別企画4題、一般演題171題、さらにビデオ賞4題、研究賞2題、共催セミナー10題を加えて計224題のご発表を賜りました。また、ハイブリッド開催となりましたが、全国より佐賀の地に179人の先生に足をお運びいただき、WEB参加も含めると計344名のご参加を賜りました。活発なご討議が行われ、ご発表いただきました先生、並びにご司会の労をお取り下さいました先生に重ねて感謝申し上げます。



ビデオ賞では柴崎晋先生（上部）、諏訪雄亮先生（下部）、新木健一郎先生（肝胆膵）、竹中賢先生（呼吸器）に素晴らしいビデオ講演をご発表いただきました。



奨励研究賞では兼田裕司先生が、指定研究賞では高橋秀和先生が受賞され、それぞれご講演を拝聴いたしました。



今回の研究会におきましては、当番世話人の思いを存分に汲んでいただいた演題タイトル、内容お考えいただき、いずれもがこの手術手技研究会でしか拝聴できない、まさに組織の声を感ずるような素晴らしいご講演でございました。感謝の念を込めまして、佐賀の名所や名産、銘酒等々で参加いただきました皆様方をおもてなしさせていただきたいと切に願っておりましたが、コロナ禍の影響が大きく、その機会に至りませんでしたこと、何卒ご容赦いただければと存じます。



伝統ある手術手技研究会の第76回当番世話人を務めさせていただき、私自身はもとより教室や佐賀大学一般・消化器外科同門にとりましても大変な栄誉でありました。今回は、現地、WEB併せて344名の参加を賜り、盛会をもって終えることができました。改めて厚く御礼申し上げます。本研究会の準備ならびに運営にあたりましては、コロナ禍の状況もあり、不行き届きの点多々あったことと存じますが、ご寛恕賜れば幸甚に存じます。



ご指導いただきました高山忠利会長ならびに研究会事務局の皆様、お力添えをいただきましたすべての先生方に深く感謝申し上げます。これを以ちまして第76回手術手技研究会主催報告とさせていただきます。

佐賀大学 一般・消化器外科 能城浩和